

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	みどり児童館放課後児童健全育成事業(生活クラブ)	所管	市民経済部 みどり児童館
			Tel 2928-8414

事業の目的 (何の為に 行うか)	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後や長期学校休業日等に所沢市立児童館を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	生活クラブ入会申込書提出児童数(1年生～6年生)	対象とした数	126	人
		実際に 利用した数	89	人

活動の内容	(何を したか)	①定員:80名 活動時間:平日 授業終了後～18時30分・学校休業日 8時15分～18時30分 ②活動内容:入会説明・保護者会・講演会・生活クラブたよりの発行・出欠の確認・生活安全指導・おやつの提供・児童館行事への参加・新入生歓迎会・行事(誕生会・ポップコーンづくり・スライムづくり・プラバン・クリスマス会・お別れ会・館外活動) ③入会手続き事務:所沢市立児童館生活クラブ事業運用基準及び運営基準により行う							
活動実績	項目名	開館日数	294	項目名	出席者数	14360	項目名	入会者数	100
			----- 単位 日			----- 単位 人			----- 単位 %

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,968	3,748	24,415	72.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	平均出席者数	年間出席者数/開館日数	50	48	96.0
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []			
		終了	⇒ 事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 [] 終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	030909	TEL	2928-8414
事業コード	みどり児童館放課後児童健全育成事業(生活クラブ)	担当部課	市民経済部 みどり児童館			
開始年度	昭和 63 年度	終了年度	平成 年度			

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市児童育環境整備計画(所沢エンゼルプラン)・所沢市次世代育成支援行動計画			児童福祉法・所沢市立児童館設置及び管理条例・同施行規則			
	関連・類似事業	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)						
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	1 子どもたちの健全育成	小柱

③事業の内容	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
	事業開始の背景	都市化の進展や核家族の進行、更に女性の社会進出などに伴い、留守家庭児童の健全育成に対する支援や諸問題に対処するため、昭和56年度より児童館事業の一つとして生活クラブ事業を開始した。みどり児童館は、昭和63年度より当事業を開始している。				
	目的(何のために行か、具体的に)	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後や長期学校休業日等に所沢市立児童館を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的とする。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 生活クラブ入会申込書提出児童数(1年生～6年生)				

対象数	単位	平成 18 年度	100	人	利用数	単位	平成 18 年度	84	人
		平成 19 年度	126	人			平成 19 年度	89	人

事業の具体的な内容及び実施方法

①定員:80名 活動時間:平日 授業終了後～18時30分・学校休業日 8時15分～18時30分
 ②活動内容:入会説明・保護者会・講演会・生活クラブたよりの発行・出欠の確認・生活安全指導・おやつ提供・児童館行事への参加・新入生歓迎会・行事(誕生会・ポップコーン作り・スライム作り・プラバン・クリスマス会・お別れ会・館外活動)
 ③入会手続き事務:所沢市立児童館生活クラブ事業運用基準及び運営基準により行う

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		

平成19年度中に改善した点
 入会待機児童に対し、夏休み期間のみ一時的に入会できる制度を試行した。
 所沢市立児童館生活クラブ事業運用基準内に入会優先順位について再検討した。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		4,800	4,968	3,942
	決算(見込み含む)		3,390	3,748	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(1.80 人)	(人)	(1.80 人)
	正規職員人件費	2.40 人	22,080	2.20 人	20,667
	公債費				
	事業費合計		25,470	24,415	
	財源内訳	一般財源	23,334	15,804	-4,742
	国・県支出金	3,374	4,043	4,214	
	受益者負担金	4,282	4,568	4,470	
市債					
その他					
市民一人当たり(単位:円)		75.4	72.0		
利用数一単位あたり(単位:円)		303,214.3	274,323.6		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	開館日数	計算方法	開館日数	単位	日	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	出席者数	年間延べ人数		人		294	294	294	295
		入会者数	入会者数/定員		%		14463	14360	14000	14000
		平均出席者数	年間出席者数/開館日数		%		100	100	100	100
成果分析	目標値	50	実績	49	達成率	98.0	96.0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
他事業との整理・統合	<input checked="" type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			

明らかとなった課題 保護者の就労等の状況により、児童館生活クラブへの入会希望者が増えている。生活クラブには、保育環境を維持するため定員制を設けており、年々入会できない待機児童が生じている。

⑦一次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
平成20年度における目標設定	児童の健全育成	適切な遊び及び生活の場を提供する	年度末

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	評価理由	保護者が、就労等により家庭にいない児童に適切な遊びと生活の場を提供して、児童の健全育成をさらに推進していく。	
	評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名 館長 沢田 利明

⑧二次評価	事前評価	部内優先順位… 18 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価理由	「児童クラブ」に比較し直営での事業となるが、放課後子ども支援の基幹的な事業でもあり、臨職による体制を維持しつつ活動を継続していくために「引き続き実施」と評価した。							
評価日	9月1日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	2221
基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
主要課題	2仕事と子育ての両立の推進			
施策の方向	2放課後の子どもたちに対応した支援の充実			